



<http://www.minamih.net/>
15・6・6(土)
南NEWS NO21

39期生 拓殖大学杯サッカー大会

5月31日 拓殖大学サッカー場

・チーム目当て：パスアンドムーブ、積極的なフォアチェック、ゾーンプレスを意識する、積極的にシュートを打つ

○南八王子SC 2-5 小宮SC 前半1-1

得点者

江成君※大久保君のクリアボールに反応し、ドリブル突破からのゴール！！

古積君※バイタルエリアでファウルを貰い、FKを自ら決めてのゴール！！

初戦は春季カップ トーナメント 1回戦で対戦した小宮SCさん。

前回は0-3で敗戦してしまったため、今回はリベンジできるよう臨みましたが、今回も残念ながら敗戦してしまいました。

前半、相手に押される場面もありましたがGKの高田君がファインセーブをし、追加点を許さず同点で折り返しました。

君がファインセーブをし、追加点を許さず同点で折り返しました。

後半、何度か攻める場面もありましたが追加点を奪えず、暑さと慣れない人工芝のせいもあってか皆の足が止まることでフォアチェックも遅れ、相手のサイド攻撃からゾーンプレスも崩され、エリア内で相手をフリーにしてしまい失点を重ねてしまいました。

しかしながら、前回は直線的な攻撃とドリブル・パスともに簡単に相手に当てしてしまう場面がたくさんありましたが、今回は相手に当てずにボールキープする意識や、早めの予測と判断を意識する場面が増え、特に光っていたのは豊嶋君でした。

また、声も前回以上に出るようになり、チーム力も向上しつつあります。

この敗戦を無駄にせず、次回は必ずリベンジできるようGAMBAっていきましょう！！

by大澤コーチ

拓大杯、前半終わって1対1。南のペースでしたね。後半立ち上がりの失点が痛かったですね。前半・後半それぞれの立ち上がりの失点。大事なときに声が出ないのは課題ですね。

前半1分、相手コーナーキックによる失点。マーク確認の声がなく、フリーでヘディングを許してしまいましたね。

でも、2分後、大久保君は指示通りに相手裏へのスルーパスを送り、江成君の得点をアシスト。江成君の落ち着いたシュート見事でした。

その後のコーナーキックは全てみんなではね返していました。

古積君は白百合戦・シルク戦と声を出して中盤を創っていました。サイドハーフの江成君に「ワンツー」と言ってワンツーで突破を図り、得点を挙げたシーンを創り、相手のギャップに顔を出してDFのボールを受けるボランチの役目をするなど成長した姿を見せていました。

拓大杯では運動会の疲れもあったのか、声もほとんどなく、得点をしたとき以外はチャレンジもなく、不調と言っていていいでした。誰でも好不調はあります。



でも得点を取ったときはドリブルの力を発揮してファールを誘い、南の2点目をゲットしましたね。さすがです。

大澤君のDFも落ち着きがあり安定していました。小松君も中盤で一生懸命戦っていました。

豊嶋君もいつもより厳しい中盤での戦いをしていました。右サイドを高速ドリブルで突破を試みていましたが、ストップゴーがあればGKと1対1でしたね。

高田君のゴールキーピングも出色のどきでした。井上君も中盤で良く戦っていました。隅田君の振り向くトラップも格好良く決まっていた。佐藤君のヘディングのクリアーも味方のピンチを救っていました。

でも結果は2-5の負け。猛烈な暑さの中よく戦っていたと思いますが、小宮と比べると

- ・ドリブル力で負けていた・ターンも小宮の方が多用していた
- ・ルーズボールを取りに行くとき小宮の子は先ず体を当てていた
- ・南は全体的に声がなかった フリーでも声を出さない
- ・3点目の失点。中央をドリブルで割られての失点。近くに3人いたのに誰も当たらない、スライもしない
- ・4点目の失点は左からのクロスを許し、右サイドでフリーの相手にシュートされるという展開でした。誰もマークをしていない相手ができるということはボールウォッチャーになっている、MFがディフェンスに戻っていないことが考えられます。

次はコンディションのいいときに小宮と対戦したいですね。以下の課題を克服すれば良い結果が出ると思います。

- ・ドリブル・ターンの力を更に向上させる
目の前の相手を抜いてシュートを決めてやるという意欲がもっとほしいです。
- ・ボールを持つ味方にフリーの人が「出せ・当てろ」と声をかける
- ・コーチングの声、「〇〇に出せ」「マノー」「ターン」「ディレイ」など。
味方を鼓舞する声も出す。
- 大久保君が点を取られ始めたときに声を出していました。いいんだけど、立ち上がりからみんなで声を出すようにしたいですね。試合の立ち上がりから終了の笛が響くまで必要な声を出すチームに変身するのも大きな課題ですね。
- ・1対1のフジカルの強さ・スライディングで止める力をつける
- ・渡り廊下を使う攻めの多用
大和田はサイドバックがどんどん渡り廊下を上がり、味方を追い越してクロスを入れていた、アシストをしていた。全日本の長友選手や酒井選手のように右も左も楽しそうでした。その“ため”を創るには前の人からのドリブル力が必要ですね！
- ・もっと自分たちのサッカーをどうしたいのか話し合い、今日の試合はどうするかと真剣に話し合い、確認してから試合に臨んでほしいと思います。大人に言われてからめあてを考えるのではなく自分たちで自分たちのために決めるようにしてください。
- ・話を良く聴いて理解する力も必要です。誰が言っている言葉なのかかみしめてもらいたいと思います。土・日、休日、午後練でいつも一緒にサッカーを創っている仲間である大人達が言っている言葉をしっかりと受け止めてほしいですね。

全員出場で負けた試合。次は全員出場で勝ちましょう！！
みんなはもっともっといいチーム、プレーヤーになれるよ！！
by南のアンパンマン

